

InfoHunter™

Plus for RS31

取扱説明書



改定記録		
改訂番号	改定日	内容
Rev.1.0	Oct 2017	初版

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

目次

1. はじめに	6
1.1. 製品の特徴	7
1.2. 対応機種	7
2. メイン画面	8
2.1. 画面の説明	9
3. 入力画面	10
3.1. 画面の説明(ワトウエキボード表示)	11
3.2. 画面の説明(ワトウエキボード非表示)	11
4. 収集データ表示画面	12
4.1. 収集データリスト	13
4.2. 収集データ詳細	13
4.3. 入力データ詳細	14
4.4. 収集データ送信(印刷)	14
4.5. 収集データ送信(SD)	15
4.6. 収集データ送信(FTP)	15
5. 設定画面	16
5.1. 画面の説明	17
5.2. メニュー編集	18
5.2.1. 入力項目詳細設定	19
5.2.2. バーコード設定	20
5.2.3. 印刷フォーマット	21
5.3. メニュー読込(SD)	21
5.4. メニュー読込(FTP)	22
5.5. メニュー読込(QR読込)	22
5.5.1. 内蔵メモリー	23
5.5.2. バーコードメモリー	23
5.6. QR表示	24
5.6.1. 一括表示	25
5.6.2. 分割表示	25
5.7. マスタ設定	26
5.7.1. マスタ読込(SD)	26
5.7.2. マスタ読込(FTP)	27
5.8. FTP設定	28
5.9. 通信設定画面	28
6. 各種ファイルフォーマット	30
6.1. 収集データファイルフォーマット	31
6.2. マスタファイルフォーマット	32
6.3. メニューファイルフォーマット	32
6.4. 印刷フォーマット	33
6.4.1. 使用できるフォーマット	33
6.5. メール送信フォーマット	34
7. バーコード設定	36
7.1. 1次元バーコード設定	37
7.2. 2次元バーコード設定	41

1. はじめに

このたびは、InfoHunter Plus for RS31 をご利用いただき、誠にありがとうございます。
本書では、InfoHunter Plus for RS31 の操作・設定方法について説明いたします。

1.1. 製品の特徴

InfoHunter Plus は、ハoge ーターミナル並みの業務ソリューションを提供するアプリケーションです。

InfoHunter Plus には以下の機能があります。

- ・ド 収集機能
- ・照合機能（逐次/連続照合）
- ・双参考機能
- ・メール送信機能
- ・FTP 送受信機能
- ・SD イホ ート/イクホ ート機能
- ・印刷機能
- ・収集データ一覧表示
- ・メニューファイル機能

1.2. 対応機種

本体

- ・OS6.0.0
- ・RS31

2. メイン画面



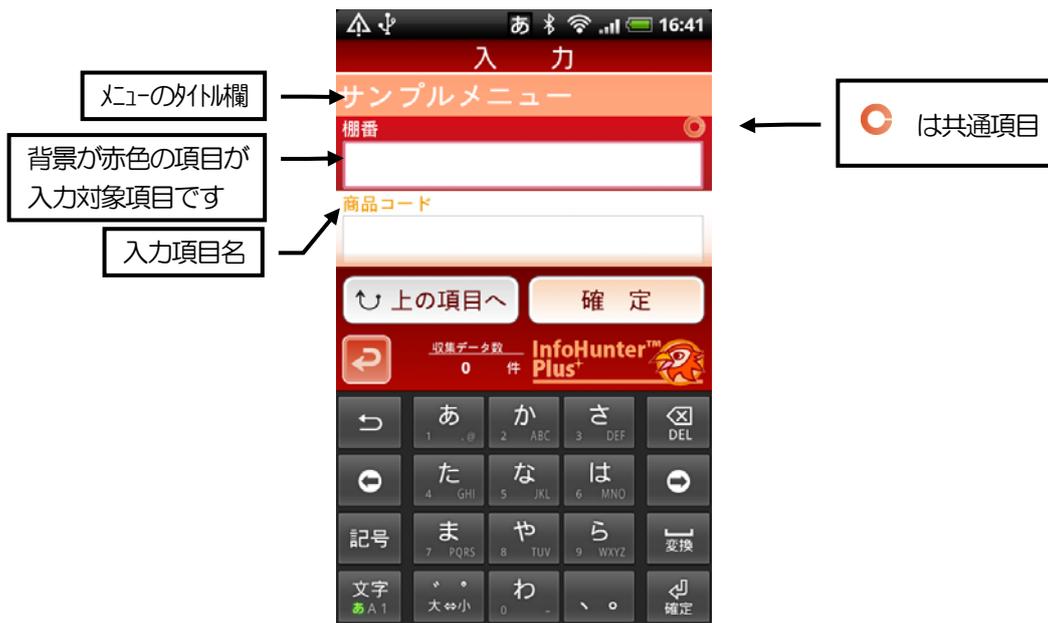
2.1. 画面の説明



3. 入力画面



3.1. 画面の説明(ソフトウェアキーボード表示)

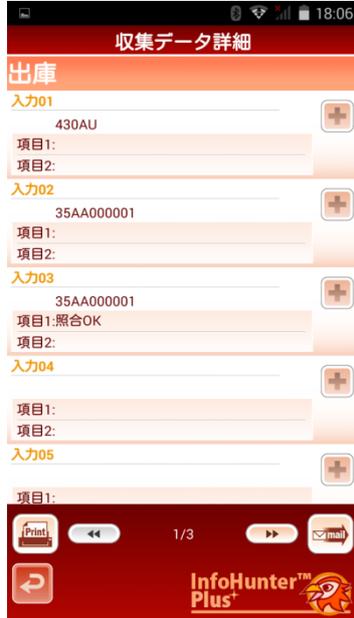


(*) 入力項目部分は追加します。

3.2. 画面の説明(ソフトウェアキーボード非表示)



4. 収集データ表示画面



4.1. 収集データリスト

行を長押しすると削除ポップアップが表示されます

行をタップすると収集データ詳細画面を起動します

収集データをメールで送信します
(* 収集した画像データは送れません)

収集データをSDカードへバックアップします

収集データを印刷します。
(* 通信設定で設定されているプリンタに接続します)

収集データをFTPサーバへ送信します

戻るボタン

収集データ全件削除

4.2. 収集データ詳細

入力データ詳細画面を起動します

一つ前に戻るボタン

次に進むボタン

収集データを印刷します。
(* 通信設定で設定されているプリンタに接続します)

表示されている1件分の収集データをメールで送信します
(* 収集した画像データも添付で送ります)

戻るボタン

4.3. 入力データ詳細



入力データを表示します。
撮影データの場合は画像だけが表示されます。

4.4. 収集データ送信(印刷)



収集データをプリンタへ送信し、印刷します。

(*) 印刷のフォーマットは「6. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

4.5. 収集データ送信 (SD)



収集データをSDカードにバックアップします。

(*) 収集データのフォーマットは「6.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

4.6. 収集データ送信 (FTP)



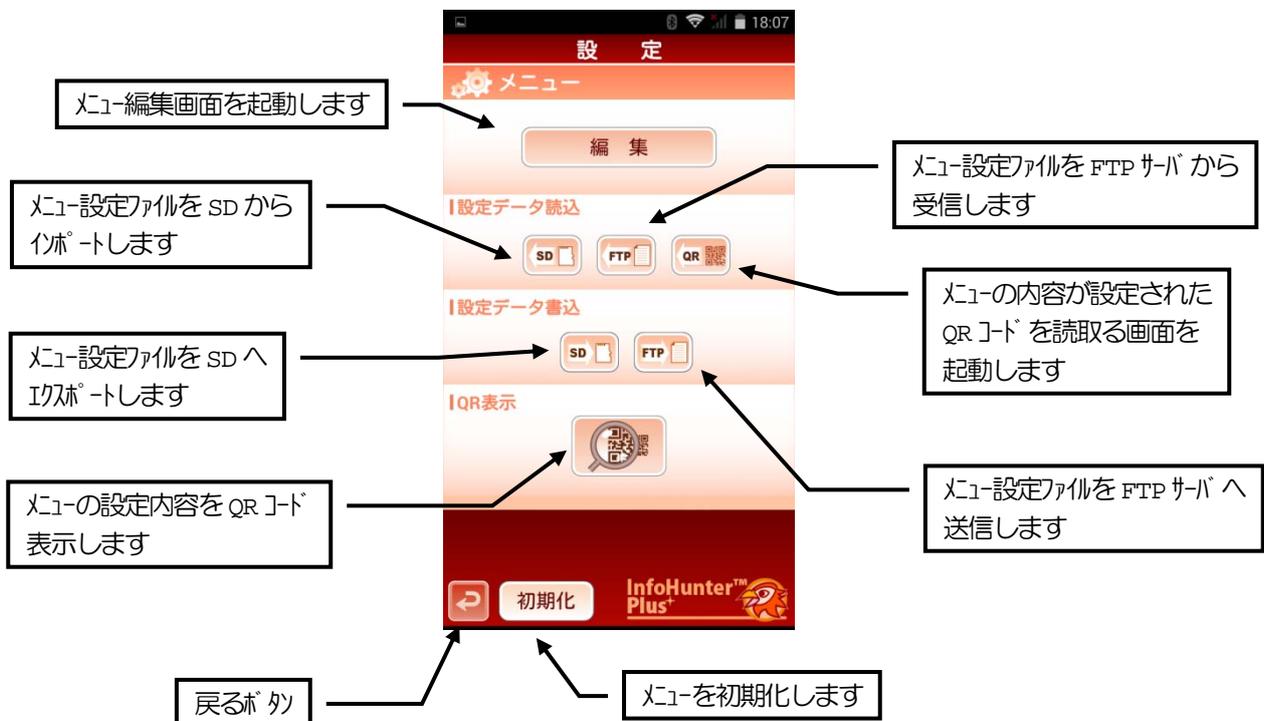
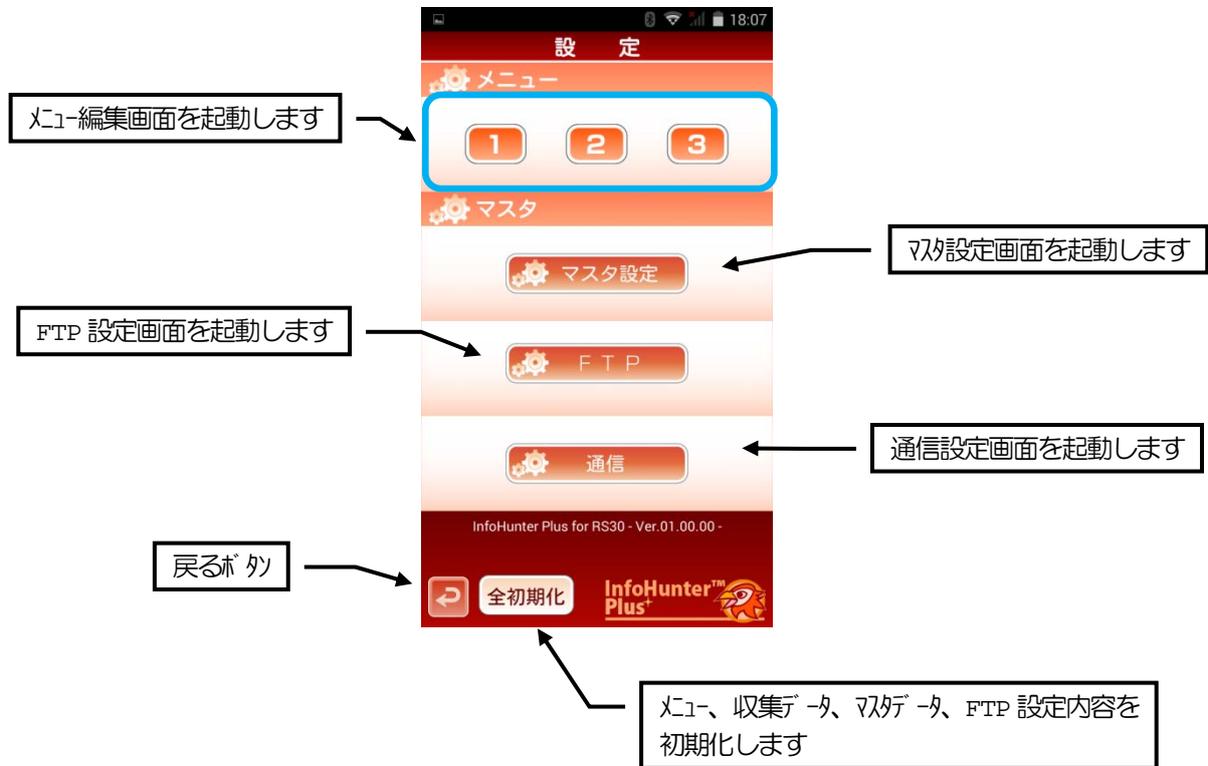
収集データをFTPサーバへ送信します。

(*) 収集データのフォーマットは「6.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5. 設定画面



5.1. 画面の説明



5.2. メニュー編集



1. タイトル
メニューの作業タイトルを設定します。
2. 入力項目数
入力項目数を設定します。(1 ~ 10 まで)
3. 共通項目数
共通項目数を設定します。(0 ~ 9 まで、ただし入力項目数より小さい値)
4. 双外情報を付加
双外参照を行った場合、双外データを収集データに付加します。
5. 日付を付加
収集データに日付を付加します。(フォーマット : 2012/07/31)
6. 時間を付加
収集データに時間を付加します。(フォーマット : 12:00:00)
7. ENT 確定
入力データを全て入力し、入力画面の確定ボタン押下の実行の可否を設定します。
8. 確定時(メール送信)
入力データを全て入力し、入力画面の確定ボタンを実行したとき、入力データの内容をメールで送信します。(メールが起動します)

9. 確定時(印刷)

入力データを全て入力し、入力画面の確定ボタンを実行したとき、設定されている印刷フォーマットで印刷します。

10. プリフィックス機能

この機能をONにすると、入力データの先頭に @01: を付加した場合、そのデータは入力項目の1番目に入力されます。(@01: ~ @10:)

例) 入力項目の3番目に@01:ABC123 と入力すると、1番目の入力項目にABC123 が設定されます。

5.2.1. 入力項目詳細設定



1. 名称

入力項目の名称を設定します。

2. 種別

文字、数字、加号を選択します。

3. 初期値

初期値を設定します。(数量を入力する場合、あらかじめ1を入れておくと便利です)

4. 入力桁数

入力文字数を 最小 ≤ 最大 で設定します。

5. 抽出桁数

入力されたデータから指定された部分の文字列を抽出します。(Barcode スキャから入力したデータの一部分を入力したい場合に、設定すると便利です)

指定範囲は (開始位置 + 桁数) ≤ (入力桁数の最小 + 1) で設定します。

6. 照合
入力項目、もしくは双外データとの照合を設定します。
7. 表示時間
照合結果、双外情報画面を表示している時間を設定します。
-1: 表示しません。
0: 戻るボタンが押されるまで表示し続けます。
1 ~ 99 秒の範囲で指定します。

5.2.2. バーコード設定

項目単位のバーコードの読取設定を行います。
設定を行わない場合には、共通バーコード設定を適用します。



(*) バーコード設定は、「7.バーコード設定」を参照ください。

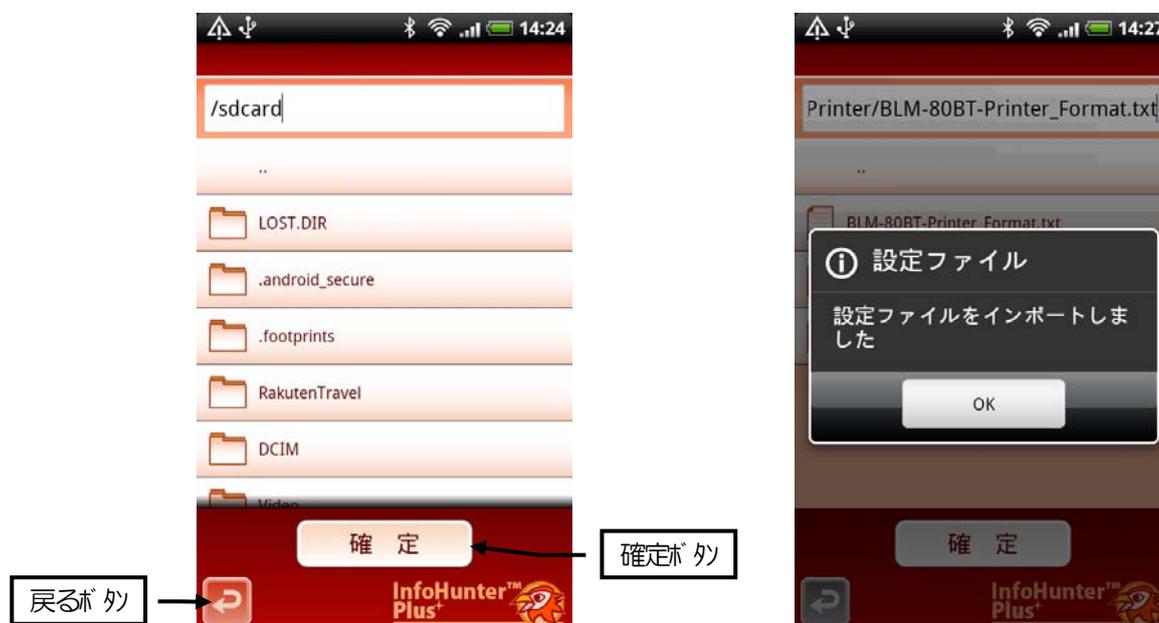
5.2.3. 印刷フォーマット



印刷フォーマットが表示されます。修正する場合には、ワキボードにて修正してください。

(*) 印刷フォーマットは「6.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.3. メニュー読込 (SD)



SD のフォルダ / ファイルリストを表示します。インポートするファイルを選択し、確定ボタを押下してください。

(*) メニューファイルフォーマットは「6.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.4. メニュー読込 (FTP)



メニューファイルをFTPサーバから受信します。
 メニューファイルを受信するには、FTP設定で設定したFTPサーバにアクセス方法を正しく設定する必要があります。

(*) アクセス方法のフォーマットは「6.各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.5. メニュー読込 (QR読込)



5.5.1. 内蔵カメラ



QRコードの撮影モードになりますので、QRコードを撮影してください。

画面をタッチすると、オートフォーカスを行います。QRコードが正しく認識できると、読取ったデータが表示されます。このデータで良い場合はOKボタン、取消す場合はキャンセルボタンを押してください。

QRコードは続けて複数回読むことができます。一括で読込めない場合はQRコードを分割したものを読取るようにしてください。

確定ボタンを押すとメニューに反映されます。

(*) 複数回読込んだ場合、最後に読込んだ入力項目のデータが反映されます。

5.5.2. バーコードスキャナ



テキスト入力欄にカーソルを合わせてから、ソフトウェアキーボードで入力してください

5.6. QR表示



設定されているメニューの内容をQRコードで表示します。

(*) 端末がインターネットに接続されていないと表示されません。

5.6.1. 一括表示



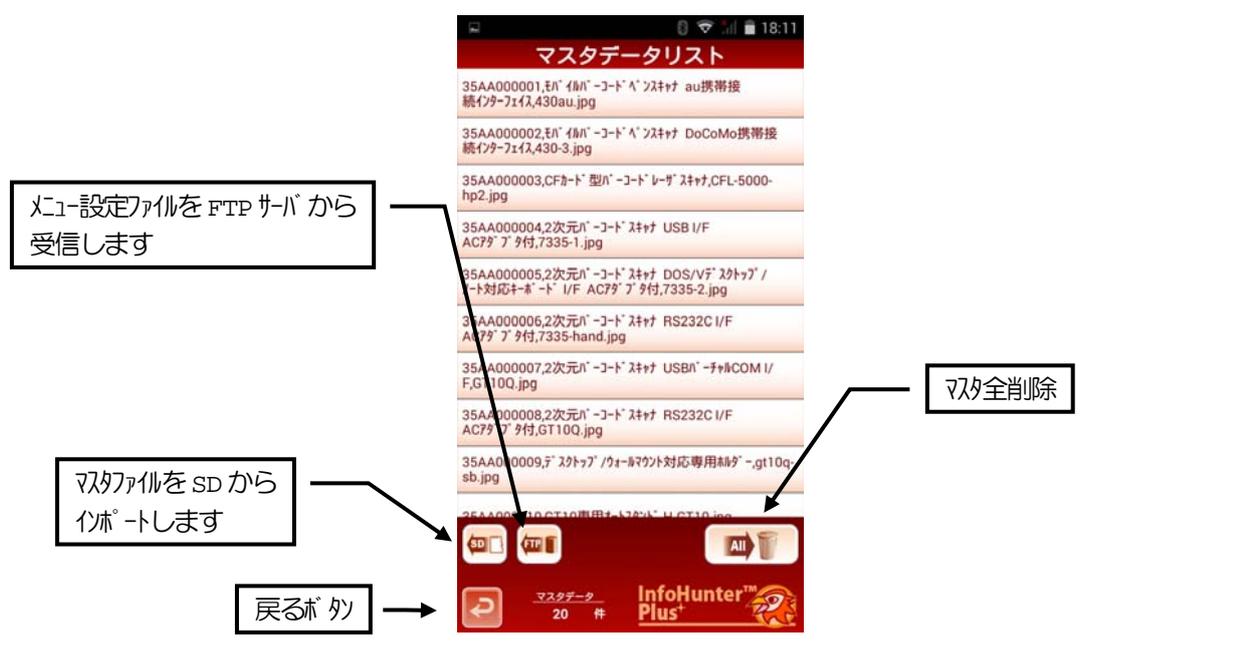
設定されているメニュー内容を一つのQRコードで表示します。

5.6.2. 分割表示



設定されているメニュー内容を分割し、QRコードで表示します。
メニュー内容により、分割枚数は増減します。

5.7. マスタ設定



5.7.1. マスタ読込 (SD)



SD のフォルダ / ファイルリストを表示します。インポートするファイルを選択し、確定ボタンを押下してください。

(*)メニューファイルフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.7.2. マスタ読込 (FTP)



マスタデータをFTPサーバから受信します。

マスタデータを受信するには、FTP設定で設定したFTPサーバにマスタデータを正しく設置する必要があります。

(*) マスタデータのフォーマットは「7. 各種ファイルフォーマット」を参照ください。

5.8. FTP設定



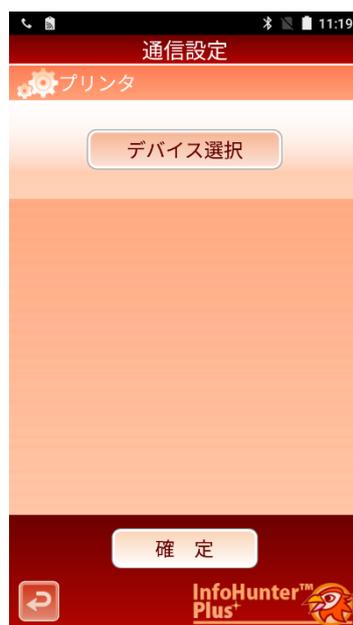
ホスト名(アドレス)、ポート、ユーザ、パスワード、ディレクトリを設定してください。

(*) ここで設定したFTPサーバに対して、収集データの送信やスキャンデータの受信、設定ファイルの受信を行います。

(*) FTPサーバの種類によっては、正常に送受信できない場合があります。

動作確認FTPサーバ: インターネット インフォメーション サービス Microsoft Corporationバージョン: 6.1

5.9. 通信設定画面



バージョンリーダー、プリンタの設定をしてください。

6. 各種ファイルフォーマット

6.1. 収集データファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_yyyymmddhhmmss.csv」のCSVフォーマットとなります。(yyymmdd:年月日、hhmmss:時分秒)

- 1フィールド : タイトル
- 2フィールド : 入力項目 1
- 3フィールド : 複数データの第 2 フィールド
- 4フィールド : 複数データの第 3 フィールド
- 5フィールド : 入力項目 2
- 6フィールド : 複数データの第 2 フィールド 又は 照合結果
- 7フィールド : 複数データの第 3 フィールド
- :
- :
- 29フィールド : 入力項目 10
- 30フィールド : 複数データの第 2 フィールド 又は 照合結果
- 31フィールド : 複数データの第 3 フィールド
- 32フィールド : 日付
- 33フィールド : 時間

(*) 収集しない項目は空となりますので、csvフォーマットとしては必ず 33 フィールド までのファイルとなります。

例) IHP_20120731120000.csv

```
サンプル1,1234567890,,,35AA000017,データ内蔵型カメラ ... , 1000-earth.jpg,1,...
サンプル2,35AA000015,,,35AA000015,照合OK,,,,...
```

先頭行が最新の収集データとなります

「6.1. 収集データリスト」画面から FTP 送信、メール送信、SD へバックアップを行った場合は、この CSV ファイルを送信します。FTP 送信、SD へバックアップの場合は、収集した画像ファイルも送信します。

(*) 収集した画像ファイル名は「yyymmddhhmmss_nn.jpg」の Jpeg フォーマットとなります。

nn は入力項目の番号になります。入力項目の 3 番目の場合は、「20120731120000_03.jpg」となります。



宛先/Cc/Bcc を入力して送信ボタンを押下することでメールを送信することができます
件名、本文については自由に編集が行えます

(*) メール送信した場合は、メール本文に収集した画像ファイルの件数が記載されて、csv ファイルが添付ファイルとなります。

6.2. マスタファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_MASTER.CSV」のCSVフォーマットとなります。

- 1フィールド : コード (*)検索キーとなります
- 2フィールド : 名称
- 3フィールド : 画像ファイル名 (*)画像はJpegフォーマットとなります

(*) FTPサーバのCSVファイルと同じディレクトリに画像を保存してください。

6.3. メニューファイルフォーマット

ファイル名は「IHP_MENU1.TXT」、「IHP_MENU2.TXT」、「IHP_MENU3.TXT」となります。

<pre><IHP> サブメニュー 3 1 1 1 1 1 0 0 0 0 0 :</pre>	}	<pre><IHP> ~ </IHP> で囲まれた中にメニューのヘッダ部を定義します。 メニュータイトル : 任意 入力項目数 : 1 ~ 10 共通項目数 : 0 ~ 9 双外情報を付加 : (0:OFF / 1:ON) 日付を付加 : (0:OFF / 1:ON) 時間を付加 : (0:OFF / 1:ON) ENT 確定 : (0:OFF / 1:ON) 確定時(メール送信) : (0:OFF / 1:ON) 確定時(印刷) : (0:OFF / 1:ON) プリアフィクス-外機能 : (0:OFF / 1:ON) バックコード 設定</pre>
---	---	---

<pre><I01> 棚番 0 0 10 0 0 0 0 0 0 0 :</pre>	}	<pre><Inn> ~ </Inn> で囲まれた中にメニューの入力項目部を定義します。 (*) mnは01 ~ 10 名称 : 任意 種別 : (0:文字 / 1:数字 / 2:加号) 初期値 : 任意 入力桁数-最小 : 0 ~ 9999 入力桁数-最大 : 0 ~ 9999 抽出桁数-開始 : 最小の値以下 抽出桁数-桁数 : (最小-開始)以下 照合 : (0:OFF / 1 ~ 11) 表示時間(秒) : -1 ~ 99 (*) -1は表示しない、0は無限 バックコード 設定</pre>
--	---	---

```
</I01>
<I02>
:
</I02>
:
```

6.4. 印刷リフォーマット

印刷フォーマットは、メニューファイルフォーマットの中に含まれます。

<EXT> ~ </EXT>で囲まれた中に印刷フォーマットを定義します。

印刷フォーマットは、ヘッダ部、ボディ部、フッター部と3部構成になります。

- ヘッダ部
 - 印刷時の最初に印刷を行います。
 - 件数がある場合でも1度だけの印刷となります。
- ボディ部
 - 一覧画面からの印刷の場合には、データ件数分印刷を行います。
- フッター部
 - 印刷時の最後に印刷を行います。
 - 件数がある場合でも1度だけの印刷となります。

6.4.1. 使用できるコマンド

コマンド	説明
<IHP_HEAD>	ヘッダ部開始コマンド
</IHP_HEAD>	ヘッダ部終了コマンド
<IHP_BODY>	ボディ部開始コマンド
</IHP_BODY>	ボディ部終了コマンド
<IHP_FOOT>	フッター部開始コマンド
</IHP_FOOT>	フッター部終了コマンド
<0> ~ <255>	制御コード「0x00 ~ 0xFF」を表します。
<NULL>	制御コード「0x00」を表します。
<ETX>	制御コード「0x03」を表します。
<BEL>	制御コード「0x07」を表します。
<HT>	制御コード「0x09」を表します。
<ESC>	制御コード「0x1B」を表します。
<FS>	制御コード「0x1C」を表します。
<GS>	制御コード「0x1D」を表します。
[INPUT01] ~ [INPUT10]	入力データを表します。
[MCODE01] ~ [MCODE10]	マタ名称を表します。
[MIMAGE01] ~ [MIMAGE10]	マタ画像ファイル名を表します。
[DATE]	日付を表します。
[TIME]	時刻を表します。

<IHP_HEAD> ~ </IHP_HEAD>, <IHP_BODY> ~ </IHP_BODY>, <IHP_FOOT> ~ </IHP_FOOT>の間に記述出来るコマンドは上記コマンドと各プログラムの取扱説明書を参照して下さい。

(*) 記述されているコマンドが、全てのプログラムの印刷が行えること動作保障しておりません。

6.5. メール送信フォーマット

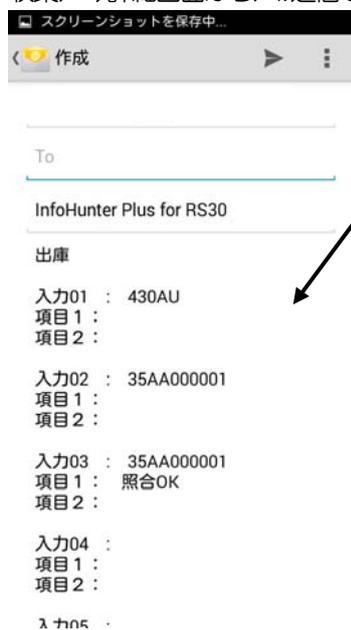
収集データを csv 形式にして添付ファイルで送信します。

入力画面の確定時にメール送信した場合



収集したデータの前に入力項目の名称が記述されます
 収集した画像ファイルは添付されます
 照合結果/マシ外情報はなければ記述されません
 (*) マシ外情報付加を OFF に設定していても
 マシデータがあれば記述されます
 マシ画像も添付されます

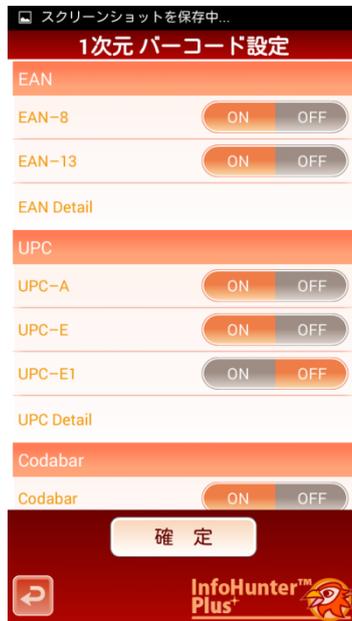
収集データ詳細画面からメール送信した場合



入力 01~10 までとそれに付随する照合結果/マシ外情報が記述されます
 収集データが無くても入力項目 10 個と付加項目 2 個ずつが記述されます
 収集した画像ファイル、マシ画像ファイルが添付されます

宛先/Cc/Bcc を入力して送信ボタンを押下することでメールを送信することができます。
 件名、本文については自由に編集が行えます。

7. バーコード設定



7.1.1 次元バーコード設定

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
EAN8	読取設定	ON	※
		OFF	
EAN13	読取設定	ON	※
		OFF	
EAN Detail	バーカ 2	無効	※
		有効	
	バーカ 5	無効	※
		有効	
	チケットアウト送信	ON	※
		OFF	
	EAN-8 から EAN-13 へ変換	ON	
		OFF	※
	ISSN 読取設定	ON	
		OFF	※
ISBN 読取設定	ON		
	OFF	※	
ISBN データフォーマット	ISBN 10	※	
	ISBN 13		
UPC-A	読取設定	ON	※
		OFF	
UPC-E	読取設定	ON	※
		OFF	
UPC-E1	読取設定	ON	
		OFF	※
UPC Detail	バーカ 2	無効	※
		有効	
	バーカ 5	無効	※
		有効	
	チケットアウト送信	ON	※
		OFF	
	アプリケーション設定	無効	
		システムコード送信	※
		システムコード / 国コード送信	
	UPC-A から EAN-13 へ変換	ON	
OFF		※	
UPC-E から UPC-A へ変換	ON		
	OFF	※	
UPC-E1 から UPC-A へ変換	ON		
	OFF	※	
Codabar	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ~ 55	4
最大桁数	1 ~ 55	55	

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
Codabar	CLSI 編集	ON	
		OFF	※
	NOTIS 編集	ON	
		OFF	※
Interleaved 2 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ~ 55	4
	最大桁数	1 ~ 55	55
	フリック イット	無効	※
		USS フリック イット	
		OPCC フリック イット	
	フリック イット送信	ON	
		OFF	※
	Interleaved から EAN-13 へ変換	ON	
OFF		※	
Code11	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ~ 55	4
	最大桁数	1 ~ 55	55
	フリック イット	無効	※
		One フリック イット	
		Two フリック イット	
	フリック イット送信	ON	
OFF		※	
Code39	読取設定	ON	※
		OFF	
TriopticCode39	読取設定	ON	※
		OFF	
Code39 Detail	最小桁数	1 ~ 55	4
		最大桁数	1 ~ 55
	フリック イット	ON	
		OFF	※
	フリック イット送信	ON	
		OFF	※
	Code39 ガラキー	ON	
		OFF	※
	Code39 から Code32 へ変換	ON	
		OFF	※
Code32 プリフィックス送信	ON		
	OFF	※	
Code93	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ~ 55	4
	最大桁数	1 ~ 55	55

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
Code128	読取設定	ON	※
		OFF	
GS1-128	読取設定	ON	※
		OFF	
	区切り文字	00 ~ 7F	00
ISBT128	読取設定	ON	※
		OFF	
	ISBT バージョン連結	無効	
		有効	
自動	※		
デコード冗長性	2 ~ 20	10	
GS1 DataBar-14	読取設定	ON	※
		OFF	
GS1 DataBar Limited	読取設定	ON	※
		OFF	
GS1 DataBar Expanded	読取設定	ON	※
		OFF	
GS1 DataBar Detail	GS1 DataBar から UPC/EAN へ変換	ON	
		OFF	※
	区切り文字	00 ~ 7F	00
Composite CC-A/B	読取設定	ON	
		OFF	※
Composite CC-C	読取設定	ON	※
		OFF	
Composite TLC39	読取設定	ON	
		OFF	※
Composite Detail	UPC 結合	結合しない	
		結合する	※
		自動	
	GS1 イミレーション	ON	
OFF		※	
MSI	読取設定	ON	
		OFF	※
	最小桁数	1 ~ 55	4
	最大桁数	1 ~ 55	55
	フィクティブ確認方法	1桁	※
		2桁	
	フィクティブ送信	ON	※
OFF			
適用フィクティブ	タイプ 10/11	※	
	タイプ 10/10		
Coupon Code	読取設定	ON	
		OFF	※
Matrix 2 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
Matrix 2 of 5 Detail	最小桁数	1 ~ 55	4
	最大桁数	1 ~ 55	55
	デコード冗長性	ON	
		OFF	※
	チェックイット	ON	
		OFF	※
チェックイット送信	ON		
	OFF	※	
Chinese 2 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	
Discrete 2 of 5	読取設定	ON	※
		OFF	
	最小桁数	1 ~ 55	4
	最大桁数	1 ~ 55	55
Korean 3 of 5	読取設定	ON	
		OFF	※
Australian Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
Japan Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
Netherlands KIX Code	読取設定	ON	※
		OFF	
US Postnet	読取設定	ON	※
		OFF	
US Planet	読取設定	ON	※
		OFF	
USPS Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
UPU FICS Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
UK Postal	読取設定	ON	※
		OFF	
Postal Detail	チェックイット送信	ON	※
		OFF	

7.2.2 次元バーコード設定

コード種別	詳細項目	値	デフォルト
Aztec	読取設定	ON	※
		OFF	
Data Matrix	読取設定	ON	※
		OFF	
	ミラバーコード	無効	※
		有効	
		自動	
区切りの文字	00 ~ 7F	00	
MaxiCode	読取設定	ON	※
		OFF	
PDF417	読取設定	ON	※
		OFF	
MicroPDF417	読取設定	ON	
		OFF	※
	Code128 互換モード	ON	
		OFF	※
QR Code	読取設定	ON	※
		OFF	
Micro QR	読取設定	ON	※
		OFF	

お問合せ窓口

・弊社ホームページ <http://www.e-welcom.com/> 問合せフォームよりお問合せください。
お問合せ内容は、本製品に関することに限らせて頂きます。

・本ソフトウェアの「カスタム」については、お近くの販売店又は弊社までご相談ください。



ウェルコムデザイン株式会社

URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

神戸 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
TEL. 078-993-6010(代) FAX. 078-993-6020 [本部 / SDC]

東京 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252

SDC 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F

(※) SDC stands for Support and Delivery Center